

広報

おまぐ

2019

6

No.173

健やかな成長を願って

NEXT きらめき[★]

田中 佑哉^{ゆう や} さん(大洲高等学校カヌー部3年)

2019カヌースプリントジュニア海外派遣選手選考会

カヤックシングル 200m 4位(B決勝)・500m 9位(B決勝)

第1回全国高等学校カヌー長距離選手権大会

カヤックシングル 5000m 4位



大洲高等学校3年(大会出場時2年)の田中佑哉さんは、3月に行われた2つのカヌーの全国大会において、上記の成績を収めました。

田中さんは、中学1年の時に、父親から勧められて地元のカヌーでカヌーを始めました。「真剣にカヌーに打ち込むようになったのは、中学2年の夏からです。クラブで基礎を学び、高校で本格的な指導を受け、戦えるようになりました」と振り返ります。

高校1年の時には、えひめ国体に出場した田中さん、「その後、高校2年の夏の大会では、良い結果を残すことができませんでした。レース後半で伸びが足りないので、持久力をもっと強化していきたいです」と話しました。

今後の目標を聞くと、「まずは、7月に行われる国体の四国ブロック予選で、国体の出場を決めたいです。カヤックシングルは、選手層が厚く、競争が激しい競技ですが、自分が満足できるレースをしたいです」と述べていました。

6月の納税など 納期限は7月1日(月)です。

税 別	6月	7月	8月	9月
市 県 民 税	1期		2期	
固 定 資 産 税		2期		
軽 自 動 車 税				
国民健康保険税		1期	2期	3期

市税などの納付は、便利で安心な「口座振替」を。
今年度から市県民税と固定資産税が4期納付になります。

現在の大洲

	人の動き(先月比)	交通事故(昨年同期)
人 口	43,025人 (- 95)	件 数 19件(36件)
男	20,543人 (- 29)	死 者 0人(0人)
女	22,482人 (- 66)	負傷者 20人(50人)
世帯数	19,870世帯(+ 35)	

(2019年4月末現在)

CONTENTS 目次

- 2 ページ～ がんばる大洲っ子・今月の表紙
- 3 ページ 救急医療体制が一部変更されます
- 4 ページ～ (特集) 地域医療の未来を考える
- 8 ページ～ おおずニュース
- 12 ページ シリーズ
- 13 ページ～ おしらせピックアップ
- 22 ページ～ 情報ひろば
- 24 ページ 集まれ0級若モン
- 25 ページ～ 図書館・保健センター・各種相談ガイド
- 28 ページ がんばるひと
(NPO法人おおなる工房)

今月の表紙



恒例のこいのぼりの川渡しが、4月28日(日)から大川地区で行われました。晴れ渡る空のもと、約180匹のこいのぼりが、肱川を力強く泳いでいました。

災害の影響で、今年の「大川鯉のぼり祭り」は中止になりましたが、来年度の開催に向け、地域一丸となって復興に取り組んでいます。

救急医療体制が一部変更されます

八幡浜・大洲喜多地区の救急医療体制が見直され、6月1日(土)から二次救急当番病院および休日夜間急患センターの受入体制が一部変更されます。

【二次救急当番病院】

▽日曜日の昼間帯の診療時間が午前8時30分～午後6時になります。

▽日曜日の夜間帯の救急病院が大洲中央病院から市立八幡浜総合病院になります。

【休日夜間急患センター】

▽日曜日の午後8時～午後11時の時間帯が新たに診療対応できるようになります。

【二次救急当番病院】

5月31日(金)まで

曜日	昼間帯 (午前8時30分～午後5時30分)	夜間帯 (午後5時30分～翌午前8時30分)
月・火	市立大洲病院 (西大洲) ☎24-2151	
水	加戸病院 (内子町) ☎44-5500	
木	大洲記念病院 (徳森) ☎25-2022	市立八幡浜総合病院 (八幡浜市) ☎0894-22-3211
金・土	大洲中央病院 (東大洲) ☎24-4551	
日	大洲中央病院 (東大洲) ☎24-4551	



6月1日(土)以降

曜日	昼間帯 (午前8時30分～午後5時30分)	夜間帯 (午後5時30分～翌午前8時30分)
月・火	市立大洲病院 (西大洲) ☎24-2151	
水	加戸病院 (内子町) ☎44-5500	
木	大洲記念病院 (徳森) ☎25-2022	市立八幡浜総合病院 (八幡浜市) ☎0894-22-3211
金・土	大洲中央病院 (東大洲) ☎24-4551	
日	大洲中央病院 (東大洲) ☎24-4551 (午前8時30分～午後6時)	市立八幡浜総合病院 (八幡浜市) ☎0894-22-3211

【大洲喜多休日夜間急患センター】 (東大洲 ☎23-1156)

5月31日(金)まで

診療時間	
平日・土曜	午後8時～午後11時
日曜・祝日	午前9時～午後6時



6月1日(土)以降

診療時間	
平日・土曜	午後8時～午後11時
日曜・祝日	午前9時～午後6時
日曜(夜間)	午後8時～午後11時

地域医療の未来を考える



私たちが安心して暮らしていくうえで、「医療」は欠かすことのできない存在です。しかし、地域医療の現場では、患者の増加をはじめ、医師の不足・高齢化といった課題を抱えていて、厳しい状況を迎えています。

特に救急医療の現場では、軽い症状にもかかわらず救急外来を利用する患者の増加が問題となっています。この問題は、一刻を争う状態の患者への治療が遅れてしまい、助かる命を助けられなくなるおそれがあります。また、時間外の診療の増加は、医療現場への負担を増やし、人手不足とされる医師や看護師のさらなる離職を生んでしまいます。

これからも安心してこの地域で医療を受けるためには、どうすればいいでしょうか。救急医療体制の役割や機能を正しく理解し、状況に応じた医療機関を適正に受診する必要があります。私たち一人ひとりが、医療に対する意識を変えなければなりません。

私たちの生活を支える「地域医療」を守るために、私たちに何ができるのか、どう行動すべきなのかを考えます。

救急医療の現状

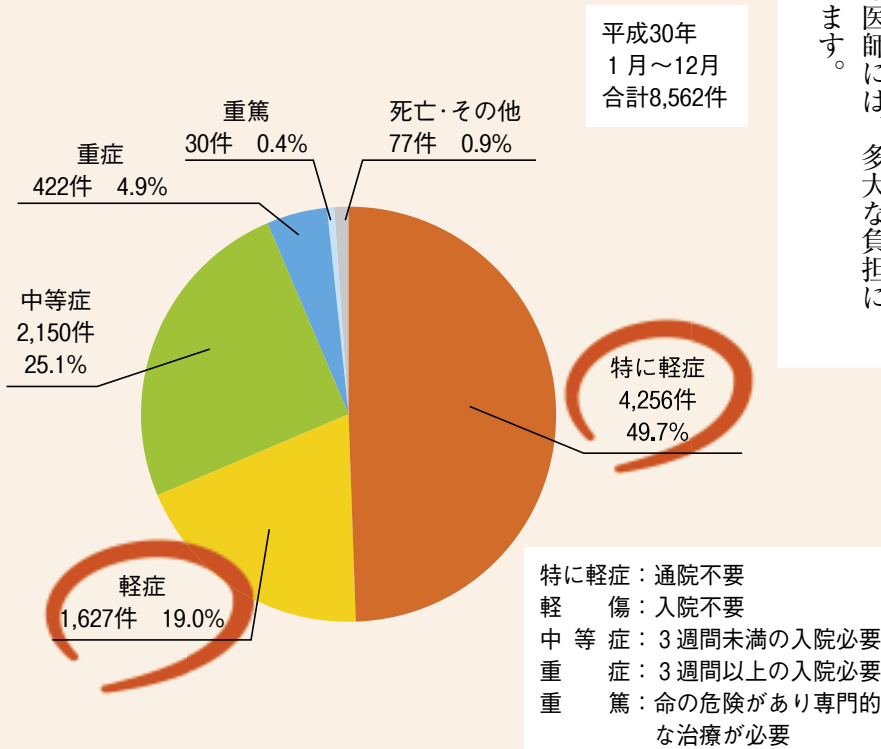
全国的に医師不足が社会問題となつていますが、大洲市でも例外ではありません。今や、へき地の診療所だけでなく、地域の中核病院でも勤務医不足が深刻な問題となつています。

一方で、休日や夜間に救急外来に患者さんが集中し、その病院に勤務する医師には、多大な負担になっていきます。

救急病院を受診する4人に3人は軽症患者

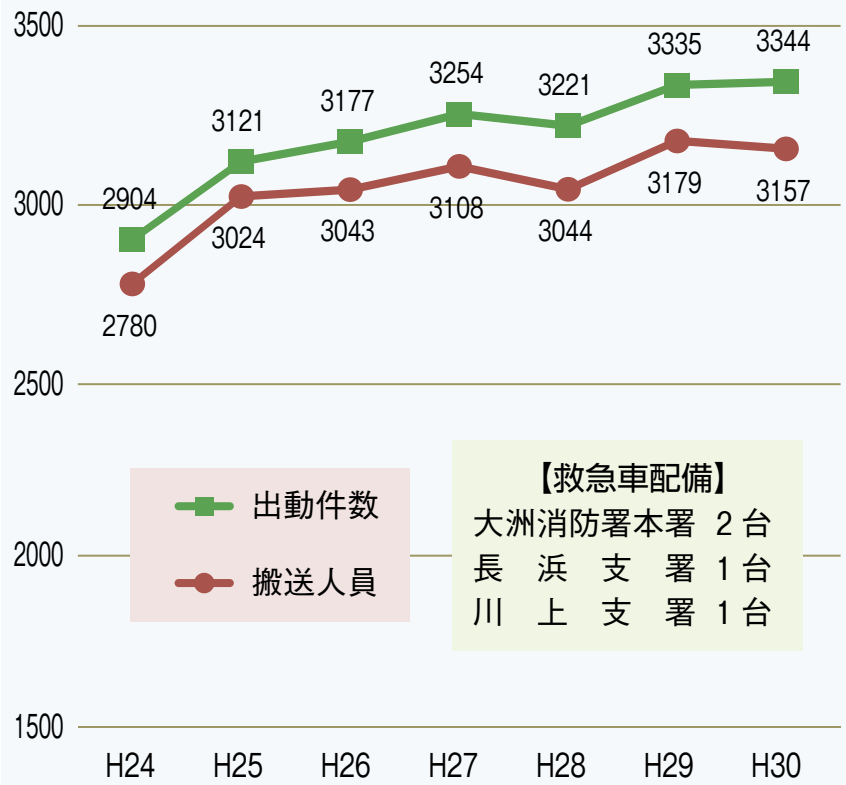
八幡浜・大洲喜多地区の二次救急病院の受診者のうち、約7割が通院や入院を必要としない軽症患者となっています(図1)。

(図1) 平成30年症状の程度別救急患者数
(八幡浜・大洲喜多地区二次救急病院)





(図2) 救急出動件数および搬送人員の推移
(八幡浜・大洲喜多地区二次救急病院)



安易な救急病院受診による医療現場への負担

「平日・昼間は仕事があるから」、「昼間は病院が混んでいるから」などの理由で、軽い症状でも休日や夜間に救急病院で受診する人がいます。

このような安易な救急受診が増えると、医療現場の医師や看護師の負担が大きくなります。すると、医師が地域から出ていくことになり、地域で医師が不足する事態を招きます。その結果、残った医師などへの負担がさらに大きくなる、といった悪循環が生じます。

また、重症な患者や入院患者の急変など、一刻も早い受診、治療を必要とする人への対応に支障が生じる恐れがあります。

救急車の利用

救急車の出動件数は、増加傾向にあります(図2)。救急車の台数にも限りがありますので、緊急性がない場合での救急車の利用が多くなると、本来に必要な人が緊急時に利用できなくなるおそれがあります。

平成30年救急業務状況

	出動件数	搬送人数
大洲消防署本署	1,832	1,737 (1,135)
長浜支署	363	339 (271)
川上支署	242	224 (160)
内子消防署本署	752	710 (519)
小田出張所	155	147 (110)
合計	3,344	3,157 (2,195)

() 内の数値は65歳以上



大洲市では、愛媛県および近隣市町と連携し、身近に医療を提供する初期医療から、入院医療を主体とする二次救急医療、高度・特殊・専門的な医療を担う三次救急医療に至るまで、3段階の医療体制の整備を進めることで、市民のみなさんが安心して必要な医療が受けられるよう努めています。

軽症

初期救急医療（一次救急医療）

入院治療の必要がなく、外来で対処しうる**帰宅可能な軽症患者に対応する救急医療**です。診察の結果、手術や入院の必要がある場合には、二次救急病院などへ紹介されます。



大洲喜多休日夜間急患センター

診療科目	内科
診療時間	平日・土曜 午後8時～午後11時 日曜・祝日 午前9時～午後6時 日曜(夜間) 午後8時～午後11時※
住所	〒795-0064 大洲市東大洲88番地1
電話番号	0893-23-1156

※日・祝の午後8時～11時の診療は、6月1日から対応開始です。

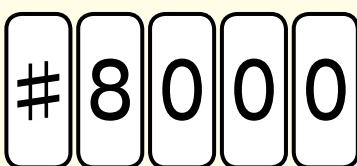
【注意事項】

- ▽健康保険証は、忘れずに持参してください。
- ▽センターは応急処置が主であり、レントゲンや詳しい検査はできません。
- ▽薬は、基本的に1日分もしくは休日分の処方となります。
- ▽他の医療機関から処方された薬がある場合は、医師または看護師に申し出てください。
- ▽中学生は診察できます。小学生は、かかりつけ医にご相談ください。



愛媛県子ども医療電話相談

急な発熱など子どもの急病などで、受診したほうが良いのか、様子を見ても大丈夫なのか。看護師（必要に応じて小児科医）が家庭での応急対処の方法など、電話でアドバイスします。



【利用できる時間帯】

平日 午後5時～翌朝午前8時
土曜日 午後1時～翌朝午前8時
日・祝 午前8時～翌朝午前8時

こどもの救急（Webサイト）

サイト内の「気になる症状」を選択すると、子どもの症状に合わせて、その対処方法を知ることができます。

【対象年齢】

生後1カ月～6歳



重症

三次救急医療

初期、二次救急では対応が難しい、**高度な専門的医療を必要とする重篤な救急患者に対応する救急医療**です。県内では、下記の4病院が救命救急センターとして24時間体制で担当します。



二次救急医療

入院治療や手術を必要とする重症患者に対応する救急医療です。八幡浜・大洲圏域にある5つの病院が救急告示医療機関として、曜日ごとに輪番制で対応しています。

通常、入院や手術が必要と判断された患者が救急車で搬送されるのは、この二次救急医療の病院です。

救急当番病院 〈5月31日(金)まで〉

曜日	昼間帯	夜間帯
月・火	市立大洲病院 (西大洲)	
水	加戸病院 (内子町)	
木	大洲記念病院 (徳森)	市立八幡浜総合病院 (八幡浜市)
金～日	大洲中央病院 (東大洲)	

※6月1日(土)以降、救急当番病院の受入体制が一部変更されます。詳しくは、3ページをご覧ください。

私たちにできること

地域の救急医療体制を存続させるためには、救急病院や救急車を正しく利用するという市民一人ひとりの心がけと協力が必要です。大切な命を救うため、救急医療を本来に必要とする人のために適正にご利用ください。

通常の診療時間内に受診する

救急医療は、あくまで救急事態に備えるため限られた医療スタッフで運営されています。

通常の診療時間は、診療時間外に比べ、検査などを含めた診療体制がより整えられています。また、休日・夜間は初診料が通常よりも加算されますので、可能な限り、通常の診療時間内に受診しましょう。

「かかりつけ医」を持つ

病気になった時の初期の治療や健康に不安を感じた時に相談できる、身近な医者を探しましょう。体の不調を感じたときは、早めに「かかりつけ医」に相談し、適切なアドバイスを受けてください。

小児救急電話相談を利用する

夜間・休日に子どもの急な病気を

で対応が心配になったら、小児救急電話相談(☎#8000)を利用しましょう。看護師や医師から、子どもの症状に応じた適切な対処の仕方などのアドバイスが受けられます。

救急車の適切な利用を心がける

大切な命を救うため、緊急性があり、本当に必要な時に救急車を利用しましょう。

休日・夜間の急な病気は「大洲喜多休日夜間急患センター」へ

急患センターは、休日や夜間の急病(急な発熱、感冒症状、嘔吐、下痢、めまいなど)に対して診療します。

休日の小児科は輪番制です

大洲市・八幡浜市・西予市・内子町・伊方町の小児科医が、日曜・祝日、年末年始に輪番で診察をしています。

当番医は、広報おおず(26ページ)や市公式ホームページで確認してください。

